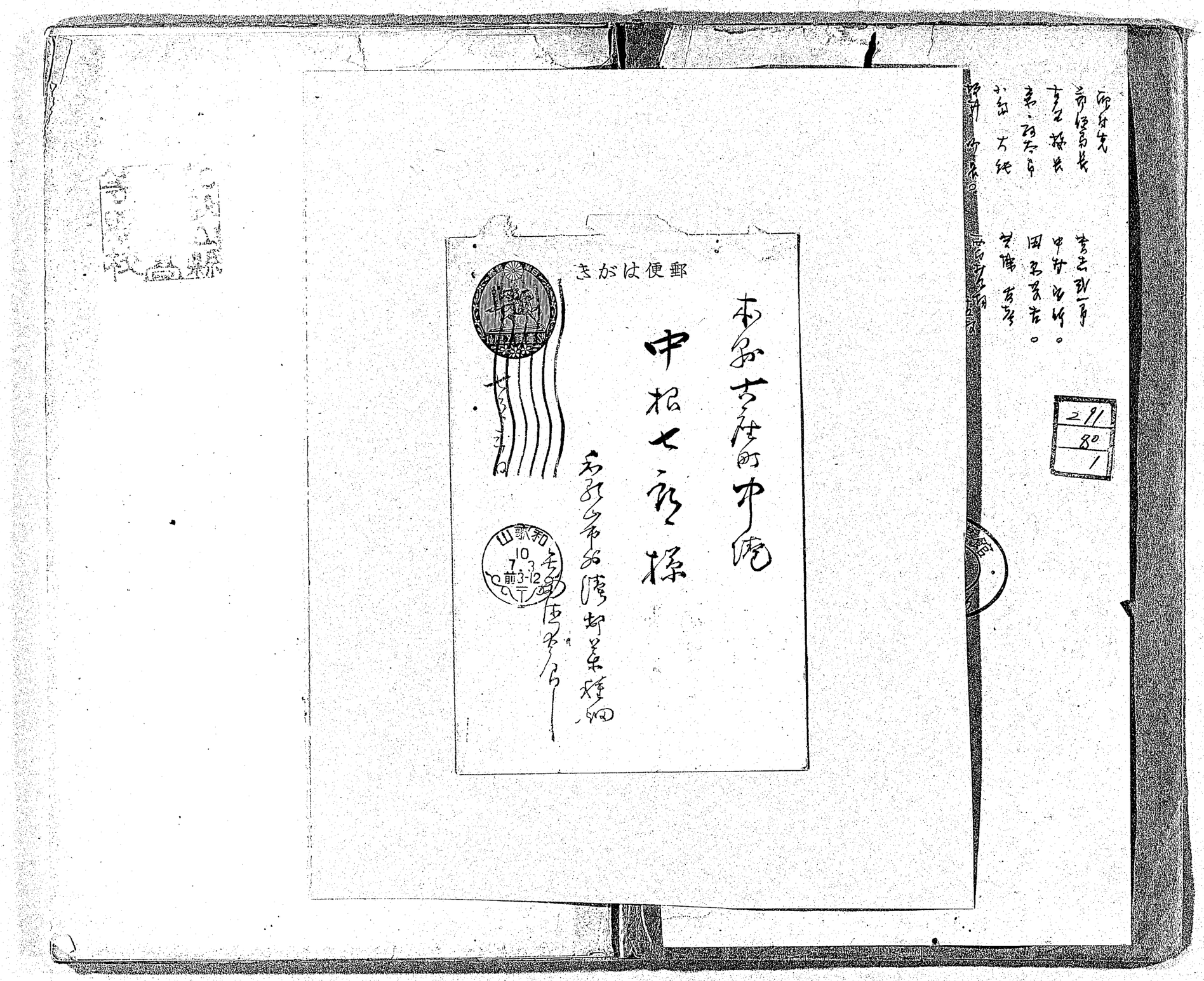
昭和十年夏頃作

古座川案内稿

291
80

28

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006



291
80
1

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006

291
80
1

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

291
80
1

古座高校圖書館
藏書NO. 4006

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006

中根七郎氏寄贈

古座川案内

新宮三郎

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006

中根七郎氏寄贈

古座川案内

古座川の探勝は川舟にて上下するを最も佳しとす。然れどもその往復少くとも六七時間を要す。短時間にその大観を賞するには自動車によるを便なりとす。その往復約二時間にて足る。若し下りのみ舟を傭へば甚だ妙なり。

勝境概して左岸に多し。古來文人墨客の撰名せられたるものを合せ三十六を算す。然れども大体上中下の三峽に分つことを得べし。即ち下流は高池町宇津木、月ノ瀬の辺を一區域とし、中央は明神村一雨潤野を一區域とし、上流にては同村立合、相瀬及対岸三尾川材洞尾を一區域となすことなり。即ち下流より名稱を擧ぐれば左の如し。其の括弧を附したるは俚俗稱ふる所の名とす。

〔下峽〕1.清暑島（河内島）　2.莵月岩（ヒ枚岩）　3.紗窓岩　4.七賢岩＝宇津木群峯なり＝　5.蛭子岩　6.少女峯（十七ヶ嶽）　7.月ノ瀬温泉（大師湯）　8.石雛淵（禊宮）　9.明月岩　10.鱣魚潭（漆ケ渕）＝此處に大鰻あり＝　11.妝奩台（鏡台岩）　12.牡丹岩　13.桃源郷　14.望仙台　15.玉壺岩（佛岩）　16.高士峯（達摩岩）

〔中峽〕○明神橋　17.巨人岩（十萬嶽）　18.仙女岩　19.烏啼峯＝又、三山冠の名あり＝　20.天馬岩　21.十哲岩＝一雨群峯なり＝　22.鬼廓岩　23.饗仙台（天狗岩）　24.神水瀑（一雨滝）　25.蓬莱岩

〔上峽〕26.髑髏岩（カモシカ岩）　27.立合川＝古座川の支峽＝　28.烏帽岩　29.波紋岩（御厨子岩）　30.鳴箏瀑（鳴滝）　31.玉筍峯（飯盛岩）　32.帰雲嶺（地蔵岩）　○飯盛隧道　33.薺雲岩（一枚岩）　○相瀬橋　34.鍾秀峯（小洞尾嶽）　35.滴翠峯（洞尾嶽）　36.天柱岩（薬研岩）　○洞尾橋

勝概　此の川は南画風の山水にして、熊野風景中に於ては特に其の趣を異にせり。一度此の境に入れば奇岩怪石は川に沿ひて起伏し、清湍砕けて雪の如く、深渕渟りて鏡の如し。或は光峯横聚して群賢の出で、迎ふるが如く、或は巉岩聳立して巨人の來り導くが如し。山を掩ふ緑葉は緩く揺ぎて風の渉るを見るべく、川を流るゝ碧水は徐に囲りて魚の泳ぐを数ふべし。

季節　春夏の候を最とす。春は櫻花蒼林の間に點綴し、賞聲宛轉として愛すべく、夏は緑翠群峯を包み、白雲山巓に去來し、岩には石斛香り、水には石雛鳴きて耳目を楽しましむべし。又秋季にありては月ノ瀬の辺、清宵観月に特に妙なり。土地月を以て名づけ。

⊙山も亦月に縁める名の多き所以なり。

古座川奥の勝地

一枚岩より上流天柱岩（薬研岩）を過ぎて眞砂渓の幽渓あり、光泉寺に銀杏の名木あり、共に三尾川村に属す。更に上りて七川村平井に平井の温泉あり、往昔眞田幸村創痍を此の湯に治すといふ。又平井の大滝あり、壮観那智ノ滝に譲らず。下りて古座川の支流小川の奥に滝ノ沛の奇勝あり、何れもその美観を擅にす。

古座川口辺の勝地

古座川口の海岸線左右に亘り、高池町池野山の蝕岩、西向町成就寺の巨松と芦雪の襖画、姫浦の松原、古座町津荷の大沛磯、何れも著名なり。特に大沛磯の附近は磯遊びに適し且水泳に好し。更に展望の佳絶なるものに至りては、西向町の重畳山あり、古座町の古城山あり、これに登臨すれば沿海の曲浦水汀太平洋の碧波白帆、衽席の間に集りて、俱に河口の勝景をなす。

昭和十年六月十日

古座川保勝會

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

古墳の発掘に関する要旨

一 近来の発掘は　二 人々自動車にて

三 故郷に多く前後せしむる必要あり、

四 余輩に於て考へたる所

法器類

古墳の一

牧倉墓の一十二

鍋鐘岩五手砂鑢

鉄器

明月宗

古墳宗の一部

鉄宗宗

一枚岩の五手山砂

そこ古墳の多数

二 鏡と加ケ

月の輪の温泉

六人の所

古代レンガ

宮市の社

高塚の石垣、墓の附

新道の宗の砂岩、附代陶

不撓の経験

女の通外に名称を終稱ゆ者

者の通行を禁止方法と信ず

古墳の案内

樋勝　古墳の樋勝は川舟にて上下するを最も便利とす。然れども其の往復おくとも十七時間を要す。短時間に其の大観を愛するには、自動車に依るを便なりとす。其の往復約二時間を要す。若し下りのみ舟を傭へば五十銭なり。

名稱　勝埴（ハニ）墳と古墳に多く、古墳文化墓室の模倣せられたるものを含む。三十ヶ所を数へられ、其れは大体三期に分つを得べく、中期の墳墓は明神村一両洞附近を一区域とし上流にあり、本月（八月）湾の西部に位し、中期の墳は同村紅谷、古湾及冠岩に居り村間谷を一区域とす。下流に名稱を異にする小古墳あり、其の拾弐を附したるは便宜稱する所なり。

二　墓（トゲ）穴

三　紡窓（ジャウ）岩（窓岩）

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

四 蛭子宮（山岳木群峯中ノ宮峯）
五 お女峯（十七ヶ嶽）
六 月ノ湯 温泉（大師湯）
七 賢宮（宇佐木群峯）
八 石鼎洞（穴宮）
九 明月宮
十 鱗魚潭（滝ヶ洞） 中ニ巨大ナル鱗有リ
十一 被奉壇（鍾馗岩）
十二 牡丹宮
十三 玉壺宮（佛宮）
十四 高士峯（童峯宮）
十五 桃源郷

十六 竜仙壇（橋宮）
中央峰 ○の神格
十七 巨人宮（十萬山神）
十八 仙女宮
十九 烏帽峯（又三山宮）
二十 天冨宮（十柱峯中ノ宮峯）
廿一 十柱宮（十柱峯の集ル処ノ意ナリ）
廿二 鬼郎宮
廿三 猩仙壇（天狗宮）
廿四 神水滝（一雨滝） 車道ヨリ一丁許ル
廿五 蓮華宮
上流峰 宮

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 04006

ナナの 獨鶴岩（カモシカ岩）

ナナ七 三合川（大谷川の支流より）

ナナハ 烏帽岩（ヨボシ岩）

ナナ九 岐鉞岩（弟辰尊ゴ岩）

三十 鳴竹瀑（鳴ル滝）

三十一 玉筍峯（領盛岩）

三十二 帰雲山頂（地蔵岩）

三十三 青雲岩（一枝岩）

三十四 鐘雲峯（小川峯山稜）

三十五 滴翠峯（川原岩）

三十六 天柱岩（薬師岩）

警戒 此の川い南亜氏の山永ホーて、無邪気鼻中ホ於ては、特

小其の跡を異ホせり。一たび此の怪ホ入れハ、奇岩怪石いれホ沿ひて都然し、清流 [illegible] 雲の如く深河湾を [illegible] 物の如く岸の中に [illegible] ホ。奇ホ名峰 [illegible] 聚して群賢の出て、迎ふるカ如く、ホ ホ 嶮岩 [illegible] して巨人の [illegible] り導くカ如し。山を掩ホ緑葉い繁く [illegible] て、色の渉るを見る〜く、川を流る、碧水い清ホ回りて、其の渉くを数ホくし。

[illegible] 舟ホ乗りて [illegible] 一 [illegible] 如し時間ホ [illegible] 相渉到舟ホ乗りて [illegible] 、舟 [illegible] 岩を後ホ一転せい、玉筍峯（領盛岩）陸ホ前ホ在り、舟 [illegible] て迂曲、回折せい、一山岸の [illegible] 、一急坐として領盛岩頭 [illegible] 実の如し [illegible] 奇妙蓄態 [illegible] 、[illegible] 再と背面ホ [illegible] 、人をして幸異の思をなさしホ る カり。奥ホ下りて獨鶴岩（カモシカ岩）ホ辺ホ至れハ其の岩面の鬼 [illegible] 神鑿、天工の妙ホ驚く〜く。而して背を回らせり滴翠峯（川原岩）

の頂[illegible]を望む。[illegible]。是れ上流の大観なり。[illegible]中央一方の景勝[illegible]の観を異にし、出渓宴清[illegible]佳境の趣[illegible]の思ひあり。

勝区　上方四里餘の間、下流に方池野大字宇津木、月ノ瀬の辺を一区域とし、中央に明神村大字一雨、潤野を一区域とし、上流に当る同村大字白倉、相澤及上長川村大字洞雲を一区域として分境[illegible]れも奇を衒め勝を競へり。而して下流に少女峯（十七丁嶺）を優れとし、中央に巨人峯（十萬嶺）を最とし、上流に奇雪岩（一枝岩）

宿泊峯（洞雲ヶ嶺）は[illegible]の偉観を極む。

春夏の候を最も佳とす、春は櫻花芳林の間に點綴し、宵去宵轉として愛吉く、夏は緑葉繁茂峯を仰ぎ、白雪山嶺に吉美し、冬は石柳香り、水は石瀬鳴きて可目を

[illegible]しむ。又秋季に在りては月ノ瀬の一景、清宵観月は特に妙なり、土地月を以て名け、山も亦月に因める名の多き所以なり。

古墳の勝地　一枝峯上流天柱峯（菊研峯）を出き て真砂の幽隠あり、宝泉寺は銀杏の名木あり、其の三度び枯れて再生す。

温泉　上方に上りて七里村字井の温泉あり、往昔真田幸村創発せ湯 あり泉質といふ、又宇村の大滝あり北嶺那智の滝に擬らる。下りて古屋川の 支流小川の奥に滝ノ沢の奇観あり、何れも其の景観を擅にす。

古屋川辺の勝地　古屋川の海岸線左右に亘り、青地氏城山 の勝景、西白井時新寺の巨杉と其の雪の獨画、妙法の杉系、古屋所津 みの大沸瀑、何れも目を惹くに足る。更に展望の佳絶なるは、 至りては西白井の重畳山なり古屋川の古城山なり、之に臨まれい沿海の 曲浦水江、大洋の碧波白帆（往来）同に集り、俱に海岸の勝景を添へる。

十文字川案内

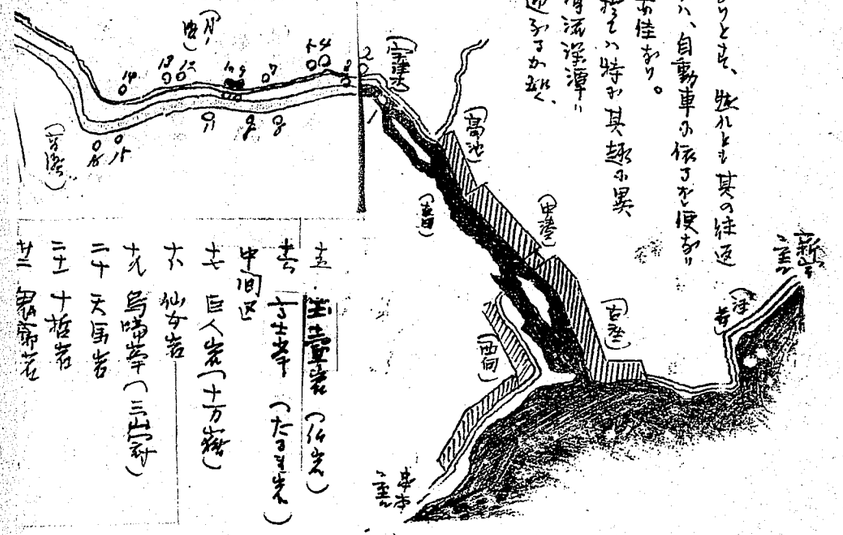
古座川の探勝

探勝　古座川の探勝は川舟で上下するを最も佳なりとす、然れども其の往返少くとも六七時間を要す。手軽く其の大観を賞するには、自動車の依るを便なりとす、其の往復約二時以内で足る。下り及川舟を雇ふも亦佳なり。

概観　此の川は南畫風の山水なりて、熊野風景中に於ても特に其趣を異にす。一名仙境に入れば、奇岩怪石川に沿ひて起伏し、清流淵潭に臨む。或は絶巒雲霧立ちて巨人の来り導くが如し。山を掩ふ緑葉は絵く様きて、色の美きを見るべく、川を流れる碧水は絵の如く回りて、鳥の泳ぐを数ふべし。

勝区　上下四里餘の間、下流は高池野大字宇津木月瀬の辺を一区劃とし、中間は明神村大字一雨洞野、下中を一区劃とし、上流は川村大字立合、相瀬及三尾川村大字洞尾を一区劃として、何れも奇を集め、勝を競ふ。而して下流は十七の景（おもなもの）を優れとし、中区は巨人巌（十万巌）を最とし、上流は一枚岩（奇雲岩）滴翠峯（洞岩）を推す。

春季　春季の候を特に佳なりとす、春の櫻花芳林の間に点綴し、鶯声幽囀として長閑なり、殊に緑紫群峰を色彩、白雪山巌に美し、山花に石櫛



○吉野川案内

探勝　吉野川の探勝は川舟にて上下するを最も佳なりとす、然れども其の往返少くとも六七時間を要す。手軽く其の大観を賞するには、自動車の伝ふるを便なりとす、其の往復約二時以内にて足る。下りの又川舟を傭ふまでもなく住なり。

景観　其の川は南畫風の山水にして、無野風景中に於て特に其趣を異にす。一名仙の境に入れば、奇岩怪石川に沿ひて起伏し、清流渓潭に両岸の山影を涵す。或は老樹鬱聚して幽賞の出で、迫るが如し。山を掩ふ緑葉は絶へず揺きて、風の清涼を見るべく、川を流る、碧水は絶へず回りて、魚の泳ぐを数ふべし。

勝区　上下四里餘の間、下流、高池所大字(字津木月瀬の辺)を一区劃とし、中間は明神村大字(雨、洞野、下中)を一区劃とし、上流は両村大字立合、相瀬、及三縁川村大字洞合を一区劃として、何れも奇を集め、勝を競ふとす。而して下流は十七名勝(本文参)を侵れば、上流は一枚岩(奇雲岩)滑翠岩(洞合)巨人巌(十方巌)其の偉観を極む。

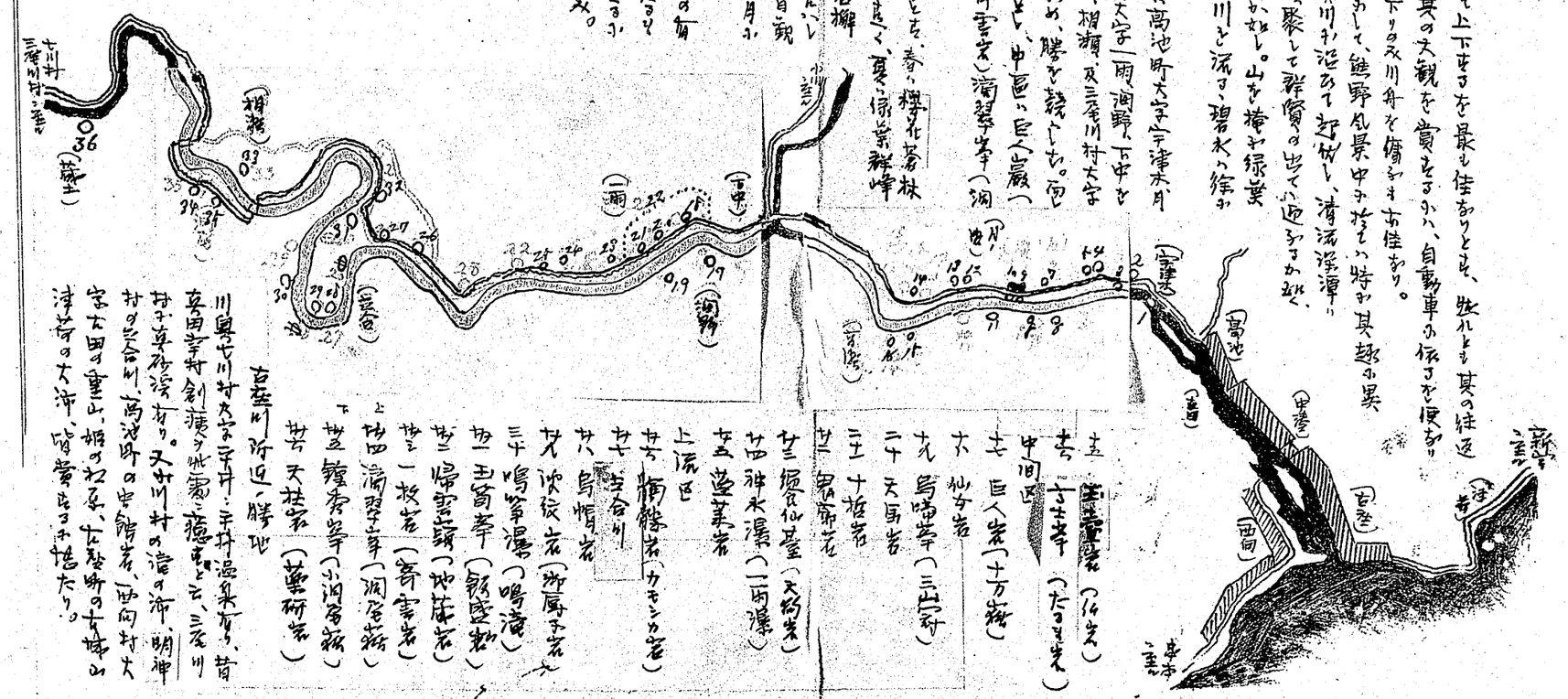
春景　春景の候を特に佳なりとす、春の櫻花若林の間に点綴し、莺声幽囀として愛慕尽く、寒い保葉新峰を色彩、白雪山巓に輝き、山花は石瀬に香り、水は石瀬に鳴き、月は高く、風は静かなり。

又秋季月の頃の辺、清宵観月に好く、土地月を以て名け、山は月に緑める名の多き所なり。

名称　沿川の勝景古来名の有るもの、及文人雅客の撰名せられたるもの左の如し、勝名之を画くるに非ず、唯特に幸にしたるものを名くるのみ。

下流区
一 清晨島(河内神社)
二 月岩(九名岩)
三 仙窟岩(窟岩)
四 七曜岩
五 蛇岩(十二ヶ岩)
六 月の瀬(大師湯)
七 石瀬洞(禅岩)
八 明月岩
九 鏡泉潭(滝ヶ渕)
十 仙遊臺(鏡臺岩)
十一 牡丹岩
十二 桃源郷
十三 望仙臺(山岳山)
十四 蓬莱山
十五 蓬莱岩(仏岩)
十六 たるま岩(たるま岩)

中間区
十七 巨人岩(十方巌)
十八 仙女岩
十九 烏帽岩(三山岩)
二十 天狗岩
二十一 男茶花
二十二 鶴仙臺(天狗岩)
二十三 神水瀑(一雨瀑)
二十四 蓬莱岩
二十五 鳴滝岩(カモシカ岩)
二十六 生合川
二十七 鳴滝瀑(鳴滝)
二十八 烏帽岩
二十九 洗衣岩(衣掛岩)
三十 玉簡岩(鶴臺岩)
三十一 帰雲岩(地蔵岩)
三十二 一枚岩(奇雲岩)
上流区
三十三 滑翠岩(洞合岩)
三十四 鶴翠岩(小洞岩)
三十五 天柱岩(薬研岩)



吉野川沿近の勝地

川筋七川村大字井ノ内温泉あり、昔吉田宇村創痍の地霊癒を云、三縁川村の草彫渓あり。又七川村の滑の滝、明神村の立合川、高池所の中館岩、西向村大字吉田の重山、姫の松原、七曜所の十城の津岩の大滝、背景なる名地たり。

旅賀(雲珍蕃字)　大里屋(二六)　神保旅館(二五)
左衛門　くま楼(十五)　月潭温泉　松尚屋(十七)　柳本旅館(十三)　中屋(十四)
寸地村　ますや　鈴豊屋　麦津屋　切本屋
助神村　白井屋
三縁川村

十四 奇岩 一枚岩　巨人岩　少女岩　ヲ入ル

○古座川案内

探勝　古座川の探勝は川舟にて上下するを最も佳なりとす、歩くとも六七時間を要す。手軽く其の大観を賞するかは、自動車の便あり少くとも、其の往復約二時以内にて足る。下りの及川舟を傭ふも亦佳なり。

概観　其の川は南畫風の山水にして、熊野風景中に於ても特に其趣を異かにす。一名仙の境に入れば、奇岩怪石川に沿ひて聳立し、清流深潭り両岸の山影を浸す。或は絶巌聳立して巨人のまり導くが如し。山を掩ふ緑葉は繁く搖きて、風の涛を見るごとく、川と流れ、碧水は絮の如く、岸の泳くを数ふべし。

勝区　上下四里餘の間、下流は高池町大字山手津木月瀬の辺を一区劃とし、中間は明神村大字一色、相瀬洞尾を一区劃として、何れも奇を集め、殊に下流は十七の景（おなぞ）を侵れば、上流は一枝岩（奇雪の岩）に（十万景）其の佛観を極む。

名称　春夏の候を特に佳なりとす、その間に点綴し、鶯声の幽韻と愛さるを、白雲山嶺に美し、岩の石櫛香り、水の石瀬鳴りて、月を待ちて、月の姿より緑めるを名称

名称

一清景岩
二芙月岩
三仏志岩（宮岩）
四七曜岩
五七夕岩
六月瀬岩
七月瀬岩
八石瀬洞（横岩）
九明月岩
十鐘乳洞（滝ヶ洞）
十一壮観岩（錦屏岩）
十二牡丹岩
十三桃源郷
十四望仙岩（岩山）
十五玉屏岩（仏岩）
十六望仙岩
中間区
十七巨人岩（十万岩）
十八仙女岩
十九烏帽岩（三山岩）
二十天馬岩
二十一十柱岩
二十二鶴岩
二十三獅仙岩（天狗岩）
二十四神水瀑（一雨瀑）
二十五蓬莱岩
上流区
二十六鶴岩（カモシカ岩）
二十七横笛岩
二十八
二十九沈仮岩（御厨子岩）
三十鳴竜瀑（鳴滝）
三十一玉簡岩（鉄壁岩）
三十二帰雲岩（地蔵岩）
三十三一枝岩（奇雪岩）
三十四滴翠岩（洞窟岩）
三十五鐘乳岩（小洞窟岩）
三十六天柱岩（薬研岩）

古座川沿近の勝地

川奥七川村大字井、字井温泉あり、昔吉田宇村創痍の地霊と伝、三尾川村の草彦滝あり。又七川村の滝の滝、明神村の芝合川、高池町の中鶴岩、西向村大字古田の童山、姫の初原、古座町の古城山、津荷の大滝、皆奇なる地たり。

旅館（電話番号）

古座町　八咫楼（十六）　神保旅館（十七）　大黒屋（二十六）
寺地町　寺地屋　月清温泉　松島屋（十七）　柳本旅館（十三）　竹屋（十四）
明神村　鈴豊屋　麦津屋
三尾川村　日井屋　坂本屋

海岸　一枝岩　巨人岩　少女岩　ヲ入ル

古屋川筑紫日記ハ　成ルヲ以テ短文ニシテ
名物　　點ジ出ス　之ヲ省ク

月ノ濱沿ヒニ入レバ　大師濱　　月ノ濱ノ法ヨ

沿川ヲ三區ニ別ツベシ　岡面ノ名勝位置ヲ改ム

岡面ニ改ム

道路付ケ替ル

名勝位置ヲ改メテ

大宋名ヲ入レテ

道路ノ起点二点ニ行先ノ地名ヲ改ム

一枚ノ紙ニ藏サル

堅粕　　ノミニ次ノ如キ文ヲ挿入シタル如何

若シ夫レ時向ノ許ヲナレリ相濱ニ川舟ヲ儲ケテ「ヨシ」ヤ。既ニ一枚岩ヲ後ニセル　玉筥峯（俗
堂山路ニ前ニ柱ノ西峯ノ今宮、左取ル時　坪呼ノ峯ヲ　野クレテ　東ヲ　玉筥峯頂
ヲ　背面ニ　更ニ　鍋鍔岳（カマヒカ岳）ノ前ニ至リテ　平宋ヲ顧、
首面ニ　沿ヒ平宋（沿ヒ平宋）ノ頂ヲ　野ヲ　ヲ　以テ　川流ノ迂曲回所
ヲ　和ルヲ而シテ　ヲ　ノ　縁第之ヲ　陸ノ山ニ　望レコヲ　道ニ　像レルヲ　見ル　同国　迄
言ヲ　抱ク

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

吉野川名勝解説

下博

一　沽景島　又河内島と云

吉野の停船を出で、吉野川を上ること数丁、小坂を過ぎ岩角を旋る所、俗脚なれい小島あり、島上緑樹茂り、四周碧水流れ、島を河内神社と称する、盛夏七月五の祭礼あり、添字八幡の祭礼参加し剣技奉ぜしたる書物を留むるあり。吉野流近年稀有とする。

二　黄月岩　九枝岩と云

清野駅より坂を下れば、川岸に杉森を生ずる浄城あり、河内神社の宮殿参拝所也、牛社を出れば急ち前面に岩峙つあり、雲霧の塔くだり。其麓を一転すれば黄月岩あり、終月岩駅に上るべき舟を停して之を望めば出会段神を経す也。

三　紗窓岩

吉野川の急流、岩を衝き勢を減じて深く興味を深淵をなす所、岩石窓の如き紗窓岩と称せ、岩頭を砕り陸上車道を通ず頃岩は隣頂に位す所を切り開き上車道を作る。

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

次辺岩壁ノ破取ル毎ニ幾ノ姿ヲ生ス。時ニ之ヲ仏像ニ比スル人多シ

四七 常家

宇津木ノ草庵ヨリ清流ヲ隔テ祥寺アリ。鐘楼寺ト称シ、昔ハ少女峯アリ社壇（鎮座来）アリ、石雅河（穂谷）ヲ下ル数ノ岩壁（鎮座来）ヲ破砕シテ、郷ハ石材ヲ出シ、新ク倍増スル岩壁ヲ作ル。

五 岩屋

宇津木祥寺中ノ自然特出セタル岩ヲ云フ。

六 少女峯　十五ノ峯ト云

寺ノ峯ハ在リ鷲ヲ天ニ突ク、第一絶巓ニ常堂先生碑ヲ建テ別堂ヲ建ツ中第一ト称ス。　側頭部　弦巻ノ一少女アリ年ハ七、容姿端麗ニシテ比類ナシ、少女肯セズ、ヨハ遂ニ病ヲ以テ抑留セラレ、身ヲ躍ラシテ、追慕死ス、ヨハ少年ヲ愛シ

嘴の痛を絶すと称す。後頭部に入りて漆を塗りたるが、如く黒く、之を名づけ
とす、其嘴部鋭利にして刺すと云、蓋此話に宜縁あるしなるか。

十一　柿倉峯　鍾馗岩

嘴部の上に在り、三本岩石よりも甚だ高く、月夜向に立れば、恰も鍾馗に似たる所に在り。

十二　牡丹岩

明月岩を後に車を駐めれば目山道に寄る所に牡丹岩あり。岩間館に有りて中に白牡丹の繁り匂ふが如き有り其所の伝たるに女来岩云

十三　桃源郷

明月岩の隧道を出れば一面開豁目圏切り有て山を繞らし、芳草碧を敷き桃花
樹連る。家茅舎散在して之を望めば恰も桃源の趣有り。桃源郷の意なる
所

十四　金山

茅舎の項　鬼刀神茅楼堂の如く、石柱を刻まず。又之を鎖書
柱と云。

十五　玉壺岩　仙宮

桃源郷の前岸に聳ゆ、壺子の立つが如く、玉壺を置くが如き奇岩有り

所より名づく。

十六　芳士岩　遠摩嶽

玉壺岩の後に在り、孤峰を競うし、麓に行宮あり。是土佐の国の
御国と称し、言葉訛りを通ず。川口を行宮の神物と言ふ。

中堂

十七　巨人岩　十篇嶽

明神橋上左方に巨人岩を望み、柱を洗れ、の如く聞く様なり。車を駐むれば
之を神の社柱の中と云ふ。長五十尺の石を柱とし、柱脚に紀年銘あり。
刀を中れば一望廣闊巨人岩の右に在り、後に烏嘴峯（三山岳）在り又道
の左に仙安岩有り、是より中央の位置に入る

十八　仙安岩

車道の右側に在り、邪山仙人の如し。連なり

十九　烏嘴峯　三山岳

対峯に烏嘴峯有り、三峯鼎列す、又那の烏嘴峯に酷似せりと共稱す
るなり、然れども三山岳に比せざるが又峯名有り。

二十　天狗岩

一面断崖中侯を失ふ所なるを云ふ。天狗宮を祭り、夏雪寒峯多し

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

表記に記す。

十五 十五岩

一面の絶壁なり。古怪奇妙なるとなす、奇観を極む

十六 鬼廊岩

仙安寺より天安、十五、の絶を会せる鬼廊岩と云。昔牛山翁の怪談逸話多き

又事なりと云、此辺中腹中の岩なり古時の建物なり

十七 仙人岩　天狗岩

鬼廊岩　巨岩なる者

十八 神の滝　一面滝

鬼廊岩を過ぎ小径を辿り行く一面の絶壁清流、鐘壁の高さ数百尺

くらい。滝瀑、落下なり。岩間を止ること又長鎖の滝と云れい、絶壁者と言者

り

十九 蓮華岩

神の滝の径れ丈夫なる旨の記せるもの有り

上境

二十 鶴鶴岩　カモシカ岩

蓮華岩の後ミヲ川岸を上れい川底左鶴岩の所、屏岩道の富るを見る

道を鶴鶴岩と称し、岩面凸凹して連刻のごとき有り蜂巣のごとき有り、

昔仟岩時代の滝に峡中に於ける鶴岩の右方なるものなりしか近年右辺の

車道を通ず本岩の大半破砕の石材道路の利益なるに一面

岩の変面の便利は鶴の利益なるに一面

岩なる所なり。我れとも石境の景は本絶壁を破砕を為す者

し出計とも言わるべきか、僅少の所論を除外とも中腹の岩石を破壊

て形みなるべきいなるも千古の岩壁と言ふべし。

二十一 ミ合り

鶴鶴岩の車道なる所小滝有り強年道無くして絶壁なりしも近年

車道滝口を通ったるなり杖で歩くを除、此滝両山沿に通りて本年を読

ん、孔石滝水落ちて奇怪を為す、四五丈の間絶壁の位置なりとす。

二十二 烏帽岩

鶴鶴岩の辺より川流の車道と成して玉分峯連山の末端を近回せる所

烏帽岩、法仮岩（茅ヶ岩）有り茅科有り時分第（時流）有り等い

教ゆる十五号

二十三 法仮岩　（第一厨子岩）

烏帽岩の上に位し、巻と所を巻て編せる母の様にて此れの行れる道路か

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006

[illegible]

[illegible]

三月 玉祥寺 飯盛宮

[illegible]

三月 帰宅 [illegible]

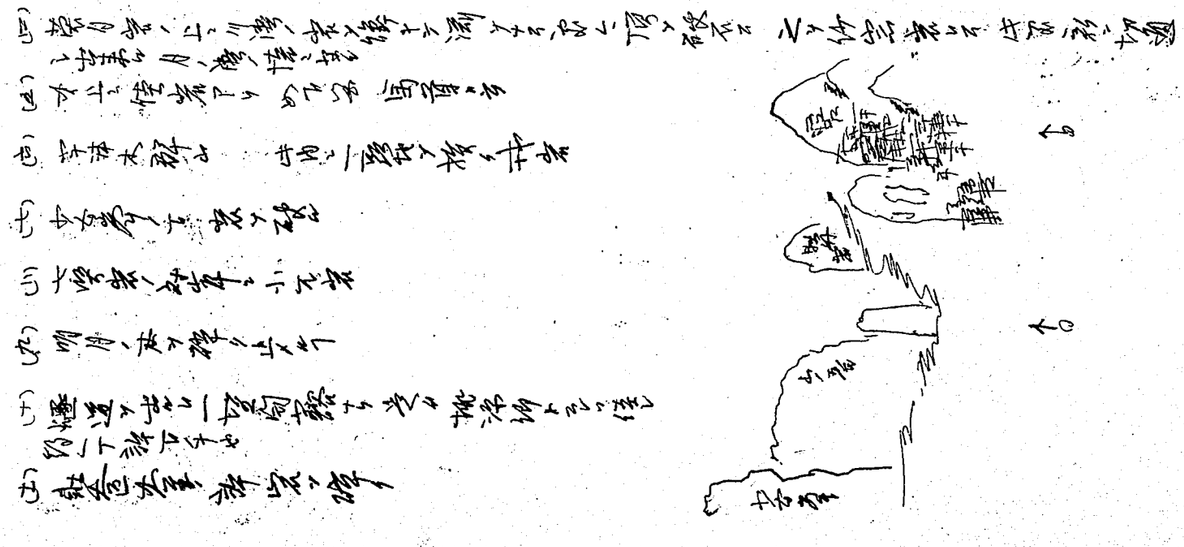
[illegible]

三月 寿雲宮 一般宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

(十二) 牡丹岩ノ詳ニ付ノ清ル

(十三) 牛隠ノ岩ニ牡丹岩下ル

(十四) 牡丹岩ノ絵ハ佳ル

(十五) 高士岩ノ下ノ洞ル

(十六) 高士岩ノ岩ハ下ノ洞物

(十七) 牡丹岩ノ絵上ハ山ニ佳ル　牛臥岩

(十八) 高士洞物ノ上ハ中ハ三平

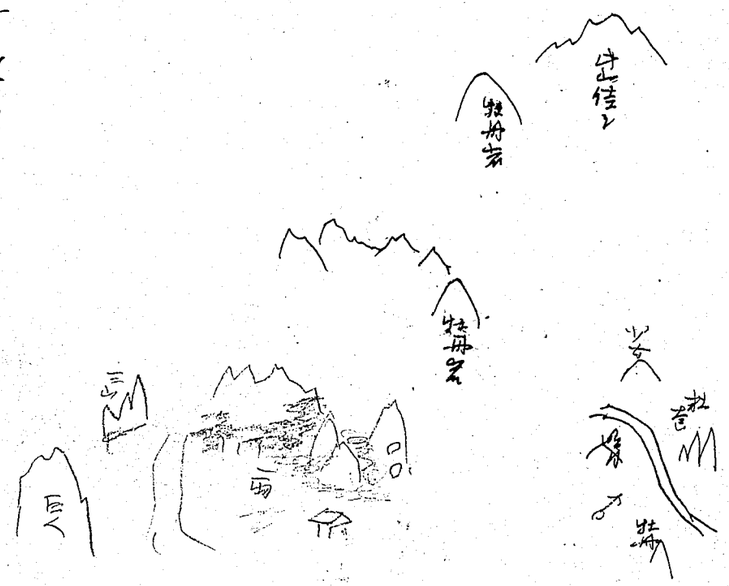
(十九) 高士洞ノ岩ハ下ハ臥牛

(二十) 高士ノ岩ハ鼻ノ岩ニ言

(二十一) 川ノ丸山

(二十二) 明神物語ハ巨ク岩ハ

(二十三) 明神ハ社ノ書ハ巨ク岩ハ　高士ハ佳ル　牡丹岩　牛佳ル



(二十四) 法見岩ハ　高岩ハ

(二十五) 安岩ハ　下手ノ岩ハ砂岩ハ

(二十六) 四月岩　岩ノ様ハ牛岩ハ

(二十七) 七時岩　山時ハ砂岩ハ牛岩ハ臥ハ様ハ

(二十八) 物語岩　山時ハ道ハ通ル　奇岩ハ高士部美ハ砂

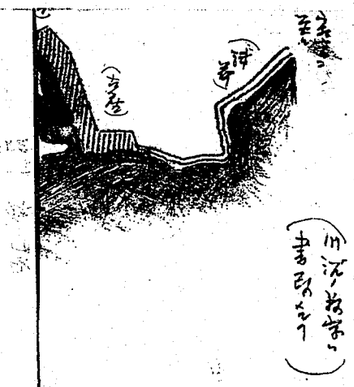
(二十九) 姫岩岩　物語岩ノ上ハ　牛岩大ハ

(三十) 五行岩ハ　山様ハ様ハ言ハ　牛山ハトハ言ハ以ハ專ハ全部

(三十一) 一枚岩　高岩ハ

一枚岩ノ手前　人ハ有ハ有ハ約一ハ枝間

枝間ハ有ハ　牛ハ出窓ノ数アリ



(四十一) 法見岩ハ高岩ハ

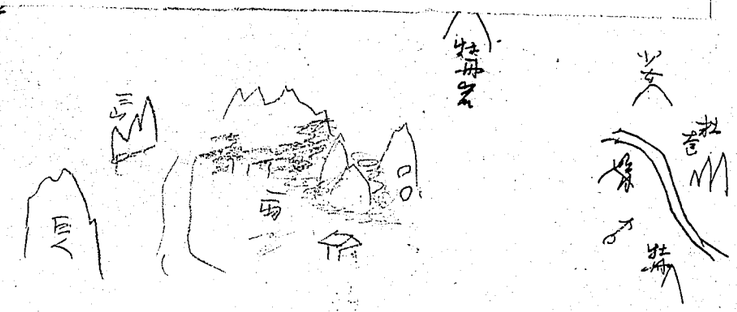
(四十二) 高岩ハ　高岩ハ岩ハ岩ハ

探勝

吉野川の探勝は川舟を上下するを最も佳なりとす、然れども其の往復少くとも六七時間を要す。手軽く其の大観を賞するには、自動車に依るを便なりとす、往復約二時以内にて足る。下り吉野川舟を賞する六七佳なり。

堅瀬

吉野川の南面風の山水にして、熊野風景中にて特に異彩を放つ。一たび此に入れば大河巌壁を川に沿ひて起伏し、清澄渓流、両岸の山影を涵す。奇岩巨岩樓閣を詳賢の出で迎ふるが如く、奇峭巨人の美を導くが如し。山を掩ふ緑葉は繽紛として撩きて、風の渡るに従ひ、時に開く。



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

探勝　吉野川の探勝は川舟を上下するを最も佳なりとす、然るに其の往復少くとも六七時間を要す。手軽く其の大観を賞せんは、自動車に依るを便なりとす、其往復約二時以内を要す。下り船は舟を傭ふ十銭なり。

景観　此川の南面風の山水にして、然り風景中に特に某処を選ぶべし。一たび此地に入れば奇巌怪石川に沿ひて起伏し、清澗深淵、両岸山影を涵す。或は若草樓聚して詳賢の出で迎ふるかの如く、或は巍巌峰峦として巨人の美を導くかの如し。山を掩ふ緑葉は繽紛として錦を見るべく、川を流るる碧水は徐々として奥の潭を数ふべし

勝区　上下四里餘の間、一流に分ち地所大字宇津木、月夜の辺を一区劃とし、中間は明神村大字一雨、洞野、下中を一区劃とし、上流は河内村大字三合、相澤及三尾川村大字洞谷を一区劃とす。所謂奇勝を集めて尽くす。而して流に十七勝を得べし中間に巨人岩を家とし、上流に一枝巌、清翠岩等の佳観を極む

季節　春景は候暖にして、春の桜花蕾林の間に點綴し、鶯声宛囀として愛すべく、夏は緑蔭鮮美を包み、自然山上に美し、岩間に石楠香り水に石蘭鳴きて、日を去らざるべし。又秋季は月の澄の辺、晴宵観月に好適なり、土地月を以て名付け、山高月明の称ある名の多き所以なり

名勝　沿川の勝景に其名あるもの及び人称名せられたるもの左の如し。然れども勝景に非ざるも、唯特に奇異なるものを掲ぐるのみ。

吉野川区
一　清暑島（河内神社）
二　荒月岩
三　紗窓岩（忘岩）
四　軽石岩
五　かめ岩（ナセケ岩）
六　宇津木温泉（大師湯）
七　七曜岩
八　石蘭洞（カジカ淵）（又清岩）
九　朝月岩
十　鯉淵潭（滝ケ淵）
十一　牡蠣墓（錦台岩）
十二　牡丹岩
十三　西堂岩（仙岩）
十四　寸七岩（逆屋岩）
十五　桃源郷
十六　蓬仙墓
中間区
十七　巨人岩（十勝岩）
十八　仙女岩
十九　烏帽子岩（三山岩）
二十　天狗岩
二十一　十指岩
二十二　見那岩
二十三　鶯宿岩
二十四　神水滝（一雨滝）
二十五　蓬莱岩
上流区
二十六　鶴脚岩（鉞岩）
二十七　姫岩
二十八　烏帽岩
二十九　波紋岩（皆附ける岩）
三十　鳴神滝（鳴滝）
三十一　玉筍岩（飯盛岩）
三十二　帰宝岩（地蔵岩）
三十三　一枝岩（寄宝岩）
三十四　府岩岩（洞谷岩）
三十五　鐘乳岩（洞谷山岩）
三十六　天柱岩（菜砥岩）

吉野川の附近の勝地
七川村大字宇津木温泉あり、若葉田村傷痍を牛蒡湯にたりと云、其の
地の名産、大字宇津木の大師山、津の濱、皆月の山辺の重要山
川村の名物峠あり、明神村の立合川、小川村の滝の沖、小

探勝　吉野川の探勝は川舟を上下するを最も佳とす。徒歩人とも六七時間を要す。手軽く其の大観を賞するは、自動車に依るを便とす。其徒歩約二時以内にて足る。下り舟を雇ふ六円位なり。

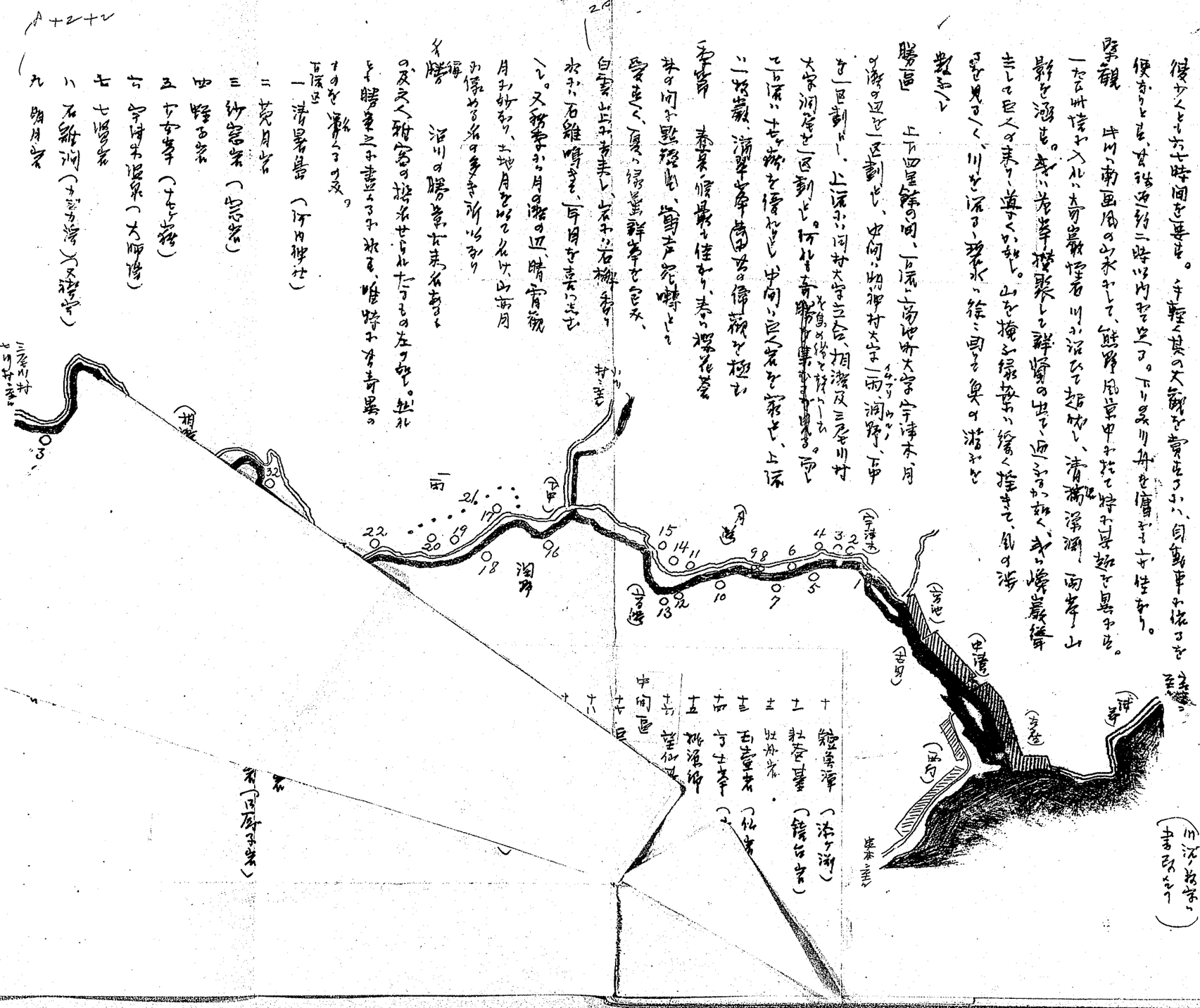
景観　此川の南面風の山水にして、然り風景中に於て特に某処を異にす。一たび此地に入れば奇巌怪石川に沿ひて起伏し、清澗深淵、両岸山影を涵す。峻峰巨岩樓聚して祥瑞の出で迎ふるが如く、或は嶮巌絶壁として巨人の来り導くが如し。山を掩ふ緑蔭は繞く接きて、風の渡るを見るべく、川を流るる碧水は徐に回りて奥の潜むを数ふべし。

勝区　上下四里餘の間、一流に分ち中央字津木、月の渡の辺を一区割とし、中間は明神村大字一雨、洞野、下中を一区割とし、上流は同村大字立合、相瀬及三尾川村大字洞窪を一区割とす。所謂奇勝を集むるものにして、中間は巨人岩を家とし、上流は一枝巌、清翠山等の偉観を極む。

春景　春景は桜最も佳なり、春の深花蕊林の間に點綴し、莫声宛囀として愛すべく、夏は緑蔭鮮苔を包み、白雲山上に起り美し、岩間は石柳香り水は石維鳴きて、年月を喜ぶが如し。又秋季は月の渡の辺、晴宵観月に好適なり、土地月を以て名付くること、山高月明の係るる名の多き所以なり。

冬勝　沿川の勝景は夫々名あるもの及び人名称宿の指名せられたるもの左の如し。然れども勝景を之に盡くるに非ず、唯特に名奇異のものを掲ぐるのみ。

一　清暑島（河内神社）
二　菊月岩
三　紗窓岩（忘岩）
四　鯉ヶ岩
五　ヤケ岩（ヤケヶ岩）
六　字津木温泉（大師湯）
七　七曜岩
八　石維淵（カゴカ淵）（又鶴宮）
九　明月岩
十　鯉淵渕（滝ヶ淵）
十一　牡蠣岩（鏡台岩）
十二　牡蠣岩
十三　西堂岩（仏岩）
十四　ヤケ岩
十五　桜渕瀬
十六　望仙岩
十七　中間巨
十八
十九　巨
二十
二十一
二十二

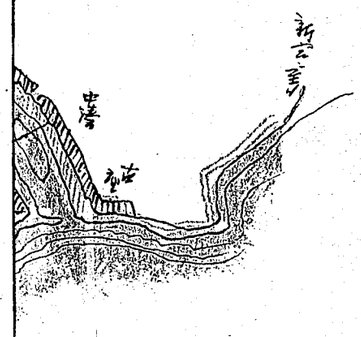


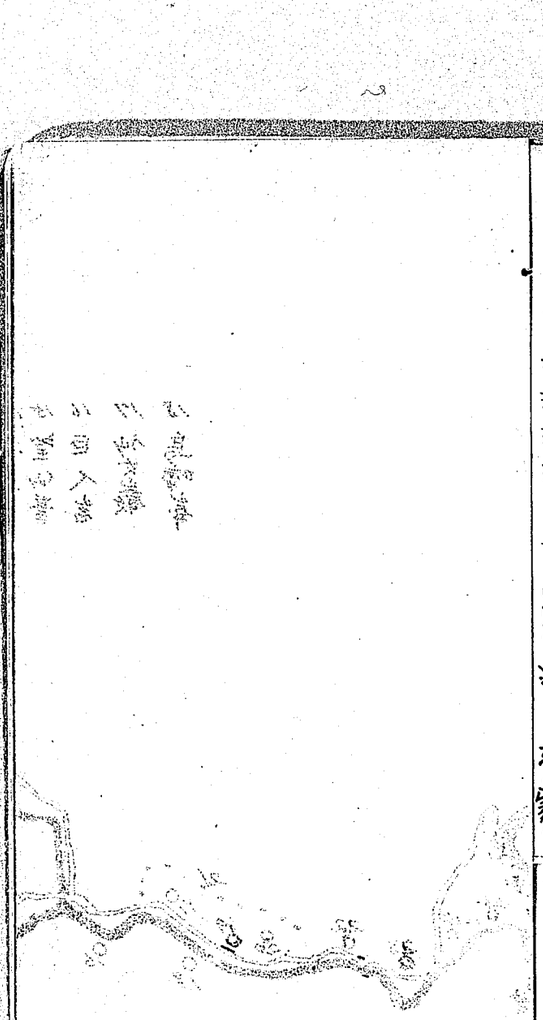
県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

古座川案内

探勝　古座川ノ探勝ハ川舟ヲ以テ上下スルヲ最佳ナリトス、然レトモ遡行スルニハ十七時間ヲ要ス。手軽ク其大観ヲ望ムニハ、自動車ニ依ルヲ便トスレトモ、言往還二時間ヲ要ス

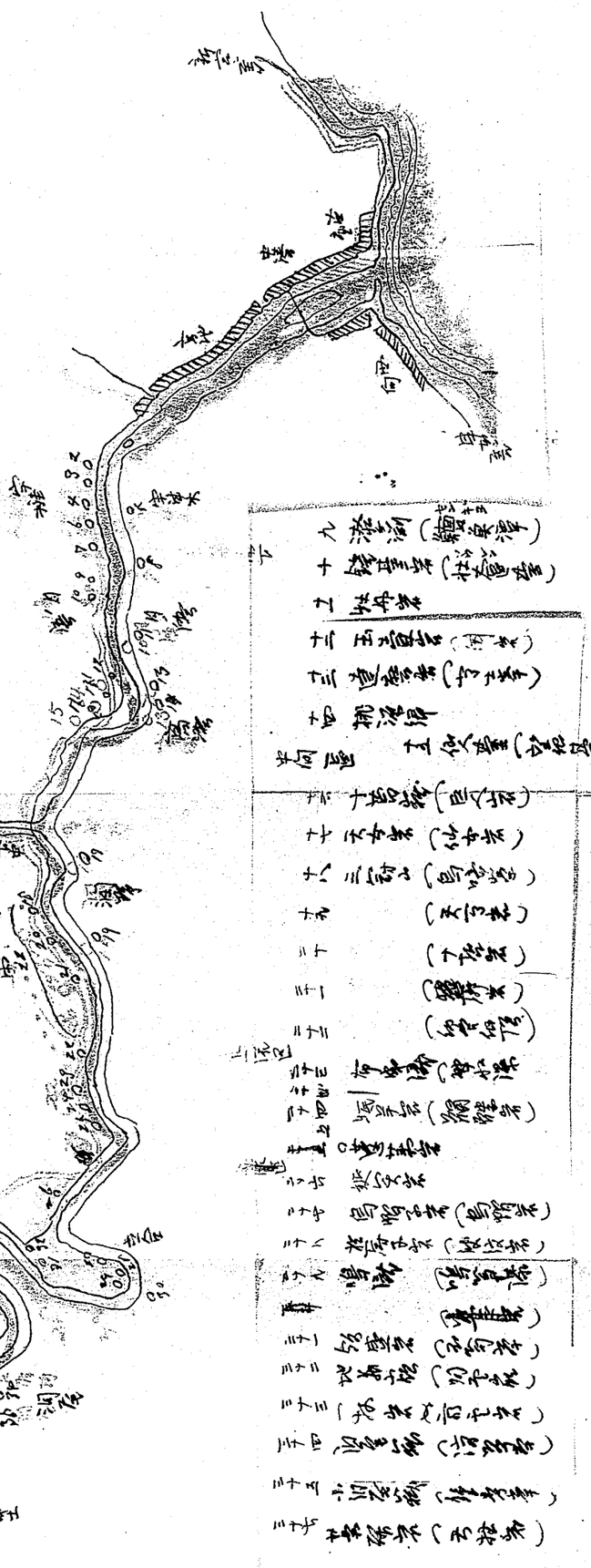
関觀　古川ハ南紀ノ山水ニシテ熊野風景中ノ白眉ト謳ハレ、一名氏情、又ハ古岩怪石リニ沿ヒテ起伏シ、清流碧淵両岸ノ山影ヲ浸ス。真ニ霧ノ

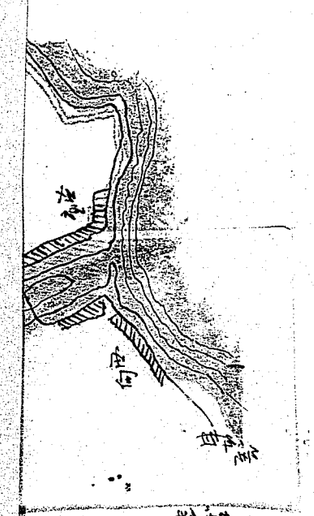


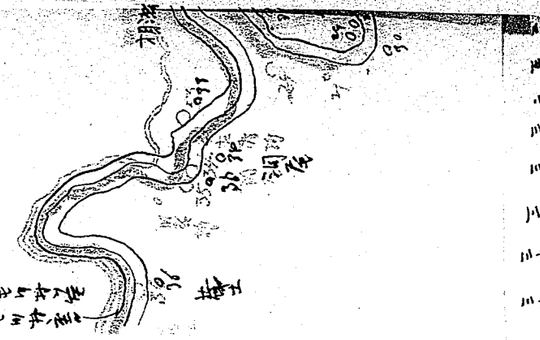


県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006







県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　040006

古座川案内

探勝　古座川ノ探勝ハ川舟ヲ以テ上下スルヲ兼ネ、ナルベク無日程迫ラザル六七時間ヲ要ス。

其大観ヲ望ムニハ、自動車ニ倚ルガ、逐二時間内外ニテ足ル

緊親　古川ノ南岸、松ヲ以テ親ヲ異ニスル、ヒラ超ル、名岩

キヨ

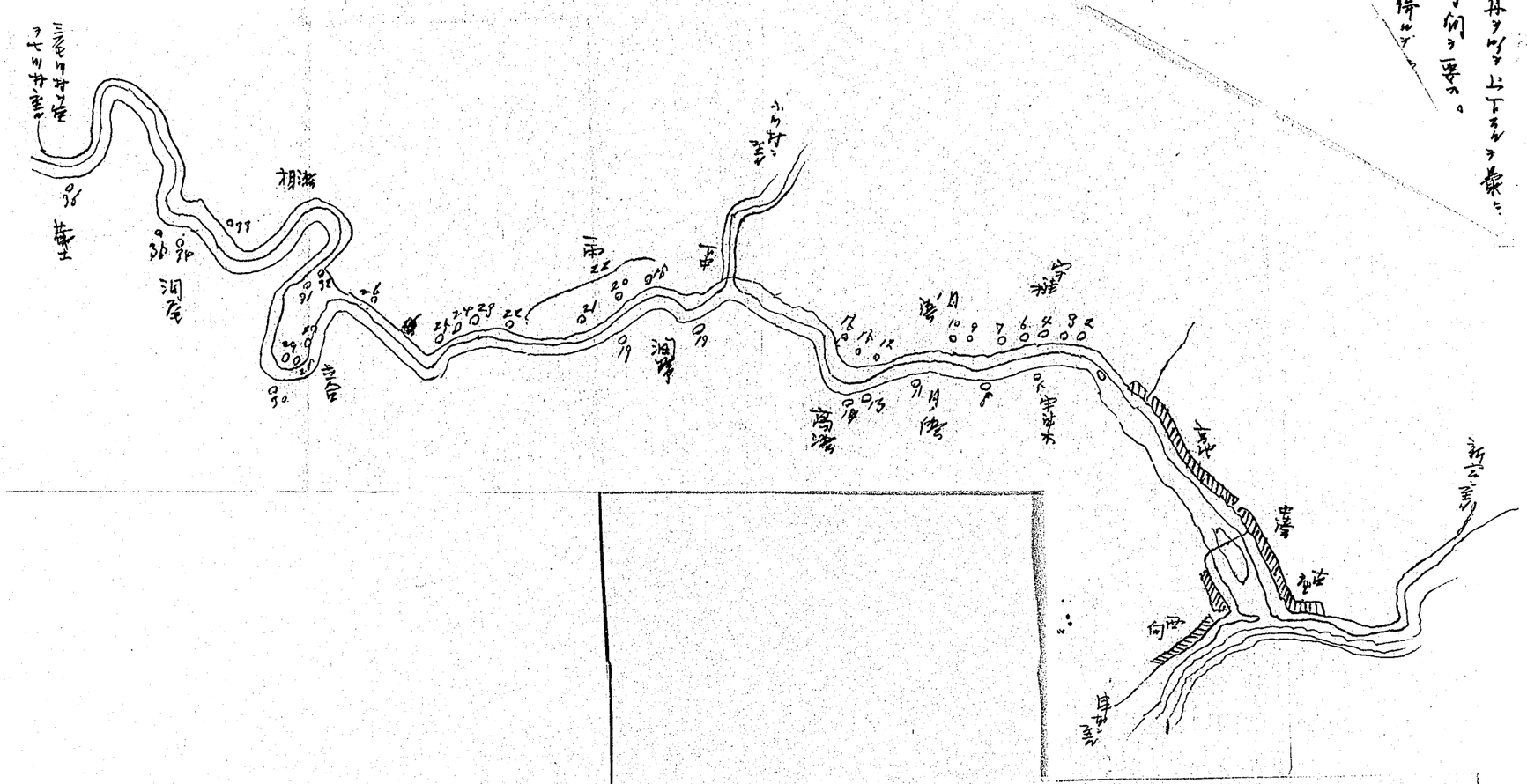
ハシ

勝ノ浦

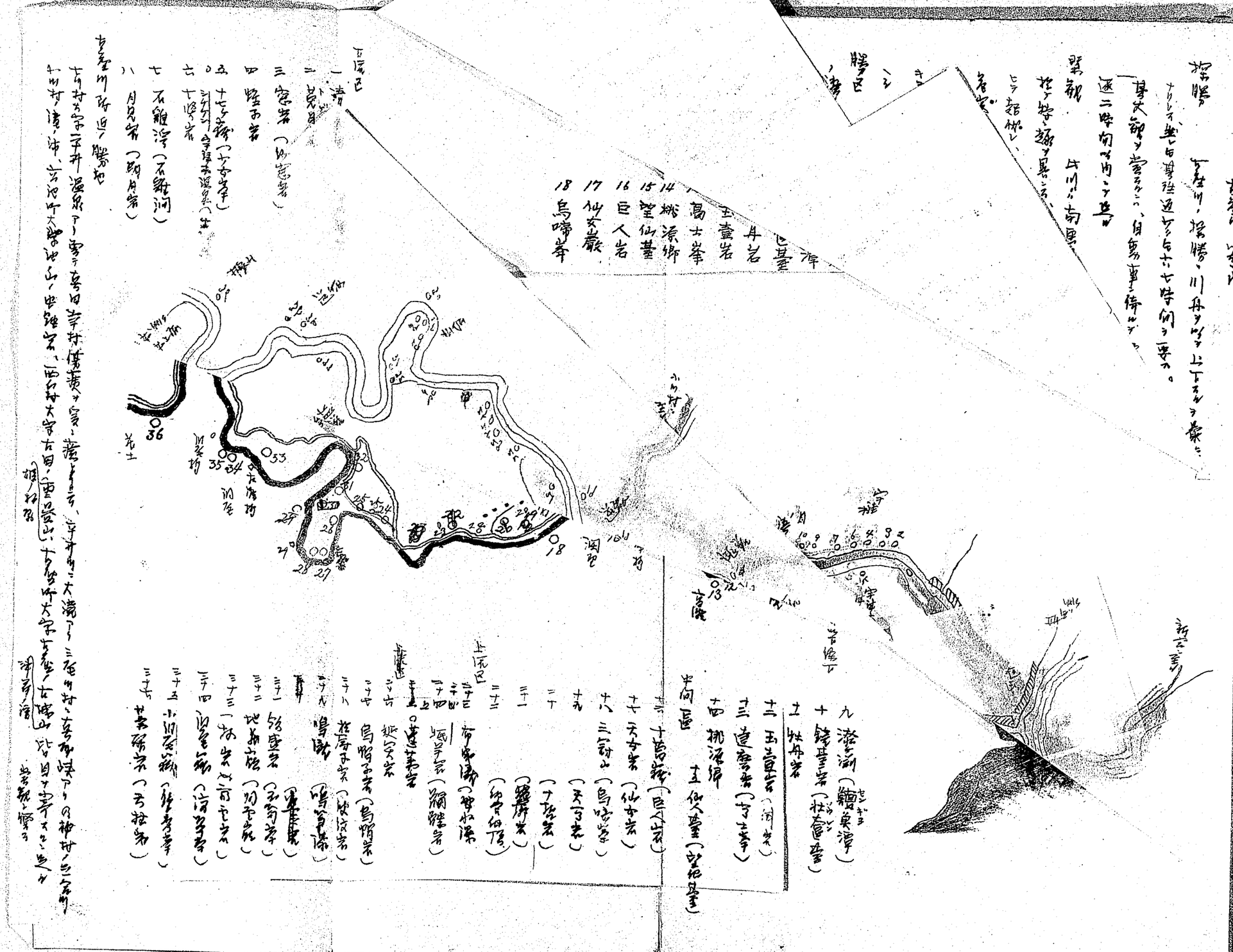
ノ滝

1 滝ノ岩島　　滝ノ神社
2 兎月岩
3 宮岩（仙宮岩）
4 陸ヨ岩
5 十七ノ滝（十字岩）
6 ミツヒロノ岩（金毘羅温泉）（金毘羅湯）
7 十曽ノ岩
7 石龍淵（石龍河）
8 月見岩（明月岩）
古座川沿近ノ勝地
七ツ村ノ字二子井温泉アリ字ヲ寄日岩
七ツ村境、沖地、立地、大野、地山ノ中間

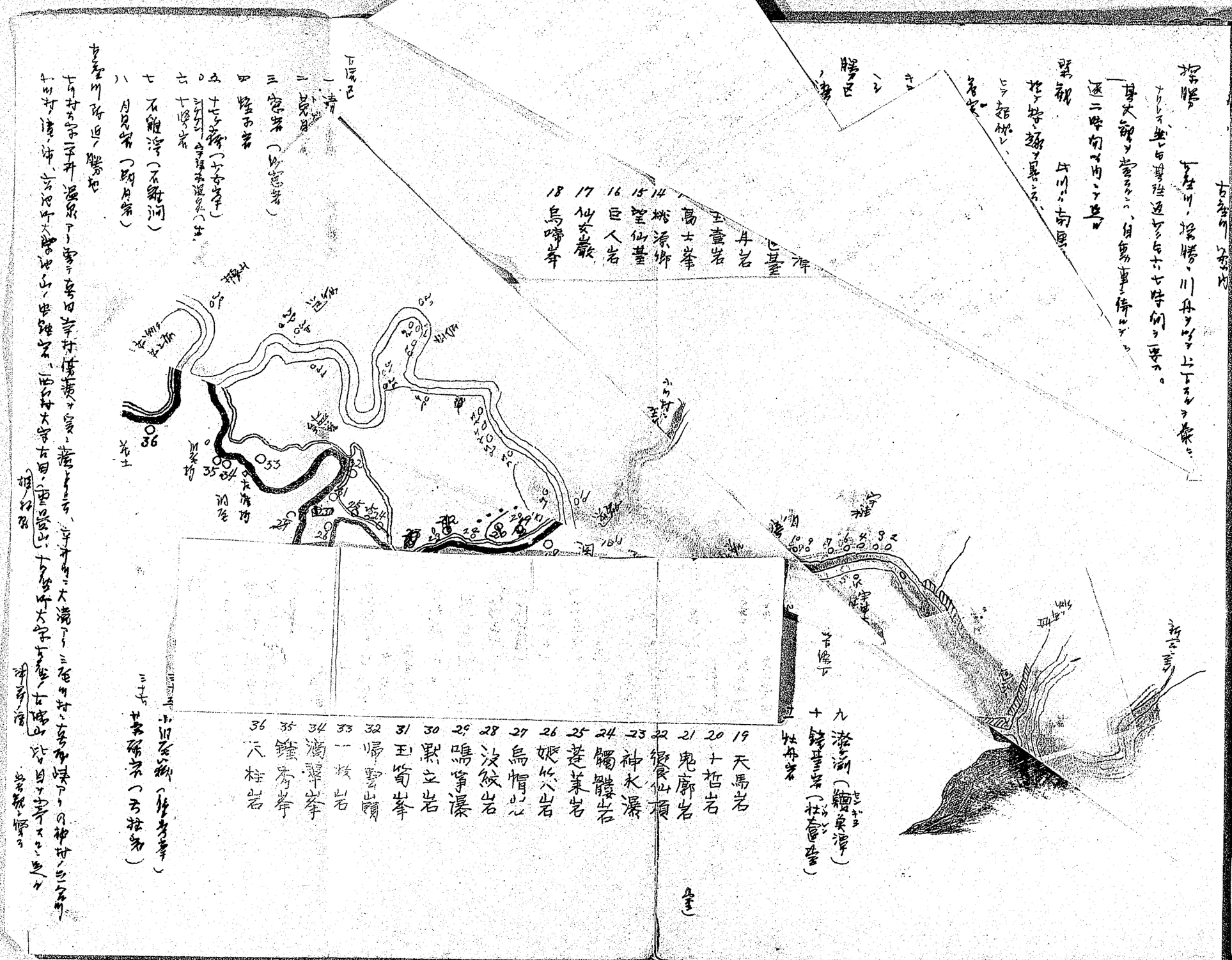
9 丹岩
10 玉壹岩
11 高士峯
14 桃源郷
15 望仙壹
16 巨人岩
17 仙女巌
18 烏帽峯



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

昭和七年第二次改作此ノ稿ヲ改ム

中根七郎

古座川と其附近の勝景

古座川は其源を大塔山に発して、七川村を過流し、三尾川村に至りて、佐本川と尾川の二流を合せ、明神村に至りて、更に小川の渓流を合せ、高池所を経、古座界に至りて、海に注ぐ、其間本流古座峡の絶勝あり、支流小川の佳景あり、而して古座川口附近も亦風光の賞すべきものあり、

古座峡

古座峡の景色は、風韻に富み、詩趣に饒かり、其山姿水態、荷葉然あり、芙蓉然あり、奔馬然あり、或は遠山白雲、或は疎林平坡、其間茅舎あり、小亭あり、之、宛然名画の長巻を観るが如き、此故に、古来文人墨客の、筆を此境に寄せしもの、詩に、歌に、之を賦し、文に、之を記し、而して其名画を画くものに至りては、多く能く此の取る、斎藤拙堂先生の詩に曰く

攢峰峭壁迎還送、曲岸迴流窮復通、左顧右眄庵接舟行摩

詩書詩中、

日下勺水先生の記に曰く

古座之溪、往返異觀、愈觀愈佳、雖蜿蜒九曲之勝、殆不二世過也、

又有東碧梧桐先生の游記に述へて曰く

靜ほと豊富でもいが、木の清列に勝るとも劣らない、近景遠望、ふつくりで、靜で、手こころだといふ氣にもなる、威壓も恐怖も襟を正を尊嚴もあいかあり、やさしくつゝみやかで、くすつこひ親しさと、ゆとりがある、さくしも親へかきたへた、荒くれ男の腕を見るやうに、ギザくした手觸りのあるさうな、靜の岩といふ別に、ゆたかくらんだ、女性の肉を思はせる、淵底を持つた、古座の岩といふ。

舟纜を古座に解き、行くこと數町にして、清暑島の邊、既に蕃境に入る、進むに隨ひて愈妙なり、泝洄四里の間、曲折せる清流に、奔つて湍となり、泝りて淵となる、兩岸の怪岩奇石に翠峯蒼壁と、互に交錯して、轉瞬に忙はしく、鷹揚に逞ましく、而して奇雲巖一枝の雄大崇高に至りて奇觀極まれり更に進めば、峻嶺蒼穹を衝く天柱巖あり、て、峽中の景挙げて佳

からざるはなし、而して騈人雅客、其中に就き、左も賞揚せへきものを撰び、三十六勝を等級、因府屋東先生の詩あり

古座峽中傳指三十六勝率賦

溯游古座舊仙源、一枚巖王剛峽門、待義教辭、後宮葉、凝粧三十六佳境、

下流より順を越えて、其勝を探れば、清暑島、高池町の宇津木に在り、深綠陰暗き家、島崖碧潭に深く、日下部鳴鶴先生詩を賦して之を讃ず

清暑島

島樹掩深潭、不知三伏熱、澄刺躍遊魚、水逆白雪、

清暑島を過ぐれば、左岸水に沿ひて紗窓巖あり、道に添ひて蒐月巖あり、蛭子巖に奇岩林立の間に聳へ、共に其勝を競ふが如し、右岸を望めば、少女峯の峭巖水に臨みて聳立し、蒼翠天を摩するあり、拙堂先生に、笑顏嬌態として、蹁躚飛舞の態ありと賞せらる、蹟谷萬堂先生の詩に曰く

少女峯

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

秀麗凌空雲色濃、真如少女有容儀、古川十里名山勝、第一風情屈九峯、

傳へ聞く、古少女あり年十七、賊を逃れて山巔の攀ぢ、身を躍らして樓を全うせと、依りて又十七ヶ嶽の名あり、少女峯の上、樓の宮の邊りの、石の雞湖あり、茂樹清泉、初夏河鹿の声頻る、對岸の七賢嶽あり、塊磊落々たり、七賢嶽の上の明月嶽あり、上游月野瀬の清流、嶽下の至りて激し、拙堂先生又水清くして駛く、月其上の落ち、浮ひて碎金となり、沈みて碎玉となる、好遊者毎の棹して来り、岩下を繞りて、留賞されい、殆んと蓬宮玉闕の想をなせと讃美せらる、矢土錦山先生詠詩あり、

明潭微底月孤矣、鷺影翩翩百尺巔、停棹拳杯舟中客、依稀風韻骨有仙、

明月嶽

鑪の奥潭ハ明月嶽の麓にあり、碧水渺渺し、深さ幾十丈なるを知らず、古来往々巨鰐を捕へ、長五六尺重量五六貫に至るも

のあり、球磨の暖地に産せず、頗る稀にして、學術上の珍種に属せ、恥の奄墨ハ右岸にあり、尖峯相對し、月其間に懸るとき、磨鏡の粉墨にあるが如し、奮と鏡墨岩と云ふ奥に一峯あり、て之と鼎立せ、合せて三笑嶽を後に、焦み、て右岸明神村高瀬の島の土峯あり、又嶽の名あり、三笑嶽を云ひ、玉壺嶽あり、又破佛嶽と云ふ、左岸月野瀬に牡丹嶽あり、桃源郷あり、蓬仙墨あり、住景相望む、望仙墨上石橋高く架せるが如きもの、又蹟雪橋の名あり、小川の支流に上に於いて古座川に合せ、

小川の川口を過ぎ、眼を右岸に轉ずれハ、明神村の洞野に、巨人嶽の嶽峯として、人の冠冕を着けて立つが如き、あり、左岸下中に、仙女嶽、天王嶽、十曲嶽の奇勝相次ぐあり、更に古座洞野に烏帽峯を望み、峡中に於ては最も仙寰とする、会せて鬼鄰嶽の稱あり、鬼鄰嶽を経て清流に沿ひ、轉石を攀ぢ、素練石門に懸るあり、神水瀑と称せ、神水瀑の上に、響仙頂あり、清境仙を迎ふ、ハ、骨骼嶽あり、鬼工人を驚かせ、其上に

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

蓮葉巖あり、姫笑巖ハ無ク、一ツ嫣然たるを見、烏帽子絞二巖ハ、形の似たるを知る、黙立巖ハ流を隔て、鳴筝瀑と相對し、玉筍峯ハ舊と飯盛と云ひ、尖峯特立して蒼天を指し、帰雲嶺ハ又地蔵巖と稱し、峯高く聳へて白雲を来去、帰雲嶺下を廻れハ直ち所謂相瀬の一枝巖ハ、高さ百七十間幅百二百一枝巖ハ又奇雲嶺と呼ぶ微色紫鉄六十間尤勝たる一大奇巖なり加納熊代二先生固歌を咏して之を嘆賞せらるる曰く

雲間もる秋の日影もむらさきの斜めハ、それほのかたふきかけり　加納諸平

これやさは天の磐たて白雲の真中をつきてそいたちたり　熊代繁里

翁池元習先生の三山紀略ハ云ふ

古座川之上流有鹿瀬邑、其地有大巖、貝原翁謂天下之奇勝、

又拙為海内第一之大巖云、

拙堂先生の南游志ハ記して曰く

巨巖所在、望見漢、夫棹過嵯下、視身如蟻、視人如豆、嵯之大可知、及逼視、如對五山、使人駭極、

又更ハ紀伊續風土記ハ述へて曰く

一枚岩、村の乾ハ、あり、て古座川の淵の上ハ、臨む、水を出て壁立せる事、高き七十丈、餘、横八十丈餘、石面平なること削るか如く、石質黑くして滑澤あり、それより東、石面平夏あり、凹凹の雫ある者百丈許、高さ皆一樣、総て五所餘の間ハ聯立せる一大石あり、故ハ土人呼ひて一枚岩といふ、岩の後ハ、山ハ續きて樹木茂生、海内大石多しといへとも、他の如く壁立平直の大石あらさ、天奇地霊天下第一の奇觀

とあり、いくて其雄大ハ、て比類なきを知るへし而して巖面平滑、光として樹木の翳せるものなけれとも其凹夏ハ石斜石杉の墨を補綴せるありて、初夏杜鵑の林間ハ叫ふ頃、石斜

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号 04006

の小花盛に開き、石松の細葉綠を添へ、其影を碧流に映せるに至りては、雅趣言ふへからさるものありて、後の瀟峽に於ける杜鵑花と共に美觀を爭ふに足る

滴翠峯は一枚巖の前岸にあり、綠山翠滴る、地三尾川村の洞屋に屬す、又洞屋ヶ嶽の名あり、其傍に群峯秀英を鍾む、乃ち鍾秀峯と云ふ、更に流れに、藏王の天柱巖の峻嶺峯を一として雪表に聳ゆるあり、又菓研巖と云ふ、平太ヶ嶽とも云ふ

古座峽の景勝、此に至りて略ぼ盡く、其の身を進めて真砂に至れば、真砂渓の幽趣掬すへき あり、里人曰ふ苟くも熊野に遊ひ瀟峽那智を觀たるものは、保せて古座峽を觀るに非されは、未たゆく熊野の景勝を語るに足らさと誠に其言痛に非さるなかるへし

小川

古座川の支流小川を上ること里餘、小川村長洞屋に沒年の瀧あり、渓の幅員三四十尋、三石底と為りて両涯に達する處、急ち斷崖となり壁立二十丈、青流靜かにして声なきもの他に

至りて飛瀧直下し、裏に糧碧として、迅雷の如し、豪快目を驚かす、是、遠く瀧の沛と云ふ、近年其一角を毀りて、水を他に集む、水路奔流衝激し、波浪の寄せるかの如く、白雪の崩るゝかの如し、又杖を曳くに足るの奇勝あり、其下流渓穴に沿ふ瀟の佳景あり、幽趣賞するに餘りあり、

古座川口附近

古座川の下流、左岸の高池町に史喰巖の勝あり、飯岩蹉跎として蟠り、其下窪穴に蜂巣の如く、其上洞穴をなし、仙居の如く鬼窟の如し、頗る奇觀とす、下りて河口の右岸西向村に重疊山あり、左岸古座町に古城山あり、共に登臨せんに近く、ハ鶴ヶ濱の白沙、姫浦の翠松、橋杭の奇巖、九龍島の嶮峻、大島の翠巒を初め、沿海一帯の景勝を袤延の間に收め、遠くハ熊野灘の蒼海、渺茫として隠涯なき を見、風光の美ふ して、眺望の佳なること、洵に河口の双絶をなして稱せらる、近世名家の詩歌左の如し

重疊山晴日

舍田　袖岡

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

校高

滄海浸天帆影高、悠然遠望似秋蓬、松風忽起飛濤廣、翻動出雲峰畔濤

出喰岩　熊代　繁里

ちよろつのあさめつらしのかたしろや神代の蝉の声

家ゐるらん　古座所見

鑑旋九龍島突兀古城山蒼海連天地孤帆白浪間　日下　勺水

校高

古座川遊覽案内

（ハ東牟婁郡ノ西方海岸ニ在リ、串本ヲ距ル東方二里、勝浦ヲ距ル西方六里、東西ノ道路ハ、紀州ノ海岸ニ沿ヒテ、大島、島ノ串本ニ而スル所大島ト云、海灣水深ク、岩熊野灘航行ノ船舶風波ヲ此港ニ避ケ、港ノ傍ニ地ヲ劃シ遊廓ノ設アリ、島ノ東端ヲ樫野崎ト云、燈臺及土耳

古座川遊覽案内

●急行船　大阪、古座、勝浦　間賃金

	下リ 一等	二等	三等	上リ 一等	二等	三等
大阪	一、〇〇	七、三〇	三、七〇			
和歌浦	一〇、四〇	六、九〇	三、四〇			
田邊	六、八〇	四、五〇	二、三〇			
串本	—	—	—			
勝浦				二、一〇	一、四〇	七〇
古座				—	—	三五
串本				一、〇五	七〇	二、六〇
田邊				七、七〇	五、一〇	三、七〇
和歌浦				一一、〇〇	七、三〇	三、七〇

●定期船　大阪　鳥羽　間賃金

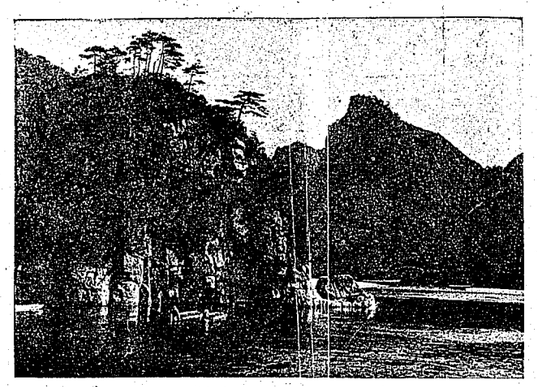
	一等	二等	三等
大阪	一〇、一〇	六、八〇	三、四〇
和歌浦	九、七五	六、五〇	三、二五
田邊	六、九〇	四、六〇	二、三〇
串本	一、〇五	七〇	三五
古座	—	—	—
勝浦	二、一〇	一、四〇	七〇
木本	五、四〇	三、六〇	一、八〇
鳥羽	一〇、八〇	七、一〇	三、六〇

古座　町松魚節、干鳥賊、酒盗、乾魚、西川、泉九、柳留、中和、上玉、柳、鍵市、淺清、桝樂、淺喜、山庄、兒三、網文、桝源、各商店

蒲鉾（西川商店）、アワビ、イセエビ、フノリ、ヒジキ（津荷ノ川本、山崎、滿所、佐藤ノ各商店）、青苔（中港ノ商店）、櫻羊羹（もみじ屋）、菓子（梅林堂、茂竹庵、

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

清晨ノ島



明月嵩ト少女峯

古座川遊覽案内

古座 ハ東牟婁郡ノ西方海岸ニ在リ、串本ヲ距ル東方二里、勝浦ヲ距ル西方六里、東西ノ道路ハ蛇々海ニ沿フテ走ル、陸ニ自動車、海ニ汽船ノ便アリ。大阪南船會社ノ急行汽船ノ上リ便ハ午前九時、定期上リ汽船ハ午前二時、ニ勝浦方面ヨリ來リ、串本、田邊、御坊、和歌ノ浦ノ各港ヲ經テ大阪ニ到ル其下リ定期汽船ハ串本方面ヨリ來リ、勝浦、尾鷲、木ノ本、鳥羽ノ各港ヲ經テ名古屋ニ到ル。

串本ニ上陸シ古座ニ向ヘバ、途中、橋杭ノ奇巖、姫ノ松原アリ、海上ニ大島、九龍島アリテ、各眼界ニ入ル、皆古座附近ノ勝地ナリ、下リ汽船ニ乘シ串本ニ上陸センカ、夜未タ深キヲ以テ、轉シテ潮岬ニ到リ浩蕩無涯ノ海洋ニ臨ミ、黑潮ノ徂徠ヲ眺メ、爽涼ノ海氣ヲ吸ヒ、東天遙ニ朝暾ノ登ルヲ觀ルモ、亦一興ナラムカ。

古座ニ到リ古座川ヲ遡上セント欲セバ、モーター船ノ便ヲ假ルヘシ、水路五里、往復三時間ヲ要シ若シ川舟ニ乘スレバ、六七時間ヲ要ス、兩岸ノ景勝、出沒變化、應接ニ遑ナカラントス。

熊野地方ニ足跡ヲ印シ、瀞峡、那瀑ヲ觀テ古座川ヲ觀サレハ、未タ熊野ノ景勝ヲ說クヘカラス、往昔齋藤拙堂ハ王壓詰ノ畫詩ノ中ヲ行クガ如シト激賞シ、近代日下勺水ハ武夷九曲ノ勝モ之ニ過キスト讃歎セリ、其他探勝ノ文人墨客ハ、耶馬溪ニ勝リ、又瀞峡ニ比シテ遜色ナシト云ヒ、其勝景ニ十餘ヲ數フルニ至レリ。

古座川 ヲ中心トシ、附近ノ名勝ヲ擧クレハ、**古座**ニ在リテハ、九龍島、古城山、津荷ノ海岸皆觀ルニ足ル、對岸**大島村**ハ勝地ニ富ミ、隣村田原ニ鑄ノ湯ノ溫泉アリ、又**高池**ニ靈巖寺ノ頁岩、池野山ノ虫蝕岩、才ノ谷ノ溫泉アリ、西向ニ重疊山、姫ノ松原、橋杭岩アリ、古座川ノ上流**三尾川**ニ到レハ、小瀞ノ稱アル眞砂溪、眺望佳絶ナル丸山、光泉寺ノ銀杏ノ老樹アリ**七川**ニ湯ノ鼻溫泉、丸山神社ノ天ヲ摩スル巨杉、那瀑ヨリ大ナリト云ヘル松根ノ大瀧等ノ奇觀アリ、古座川ノ支流小川ヲ溯レハ、瀧ノ沛ノ巨岩、河流ヲ塞キ一條ノ水路輕々トシテ瀧ヲナシ、神工鬼斧驚クニ餘リアルヘシ。春ハ重疊山ニ櫻花ヲ賞シ、或ハ古座、津荷ノ岩礁ニ潮干狩ヲ催シ、夏ハ古座川ニ若鮎ノ美ヲ味ヒ、或ハ九龍島ニ鷗ヲ侶トシテ釣ヲ垂レ秋ハ月ケ瀨ニ明月ヲ賞シ、冬ハ溫暖ノ海氣ヲ吸ヒ、四時ノ變、朝、暮ノ化、心舒ヒ體裕ニ遊興盡クルコトナカルヘシ。

西向ノ成就寺 古座川橋ノ西ニ在リ、門前ノ巨松、蒼翠天ヲ掩フ、寺ニ菩雪ノ畫ヲ藏スルコト多シ。

重疊山 成就寺ハ右側、徑ヲ登ルコト約二十町、山嶺ニ瀧姫神社、神王寺アリ、寺ハ弘法大師ノ創立スル所ニシテ、高野山ニ先ツコト七年ナリト云フ。

大師ノ作ナリト傳フル佛像三軀ヲ安置ス、櫻樹ヲ植エ、四國八十八ケ所ヲ模作シテ之ニ配シ、巡拜ニ便ニス、山上ニ在リテ眼ヲ放テハ、渺茫タル大洋、重疊起伏セル遠近ノ群巒、峻峰皆双眸ニ入リ來リ奇絶、壯絶形容ノ辭ナカランス。

大島 島ノ串本ニ面スル所大島ト云、海灣水深ク、熊野灘航行ノ船舶風波ヲ此港ニ避ク、港ノ傍ニ地ヲ劃シ遊廓ノ設アリ、島ノ東端ヲ樫野崎ト云、燈臺及土耳古軍艦遭難記念碑アリ、且本縣有數ノ鰯大敢網漁場アルヲ以テ其名著シ、此岬ニ沿フテ須江ニ至ル海岸一帶ハ岩礁壁立波濤之ニ激シ、壯觀ヲ極ム。

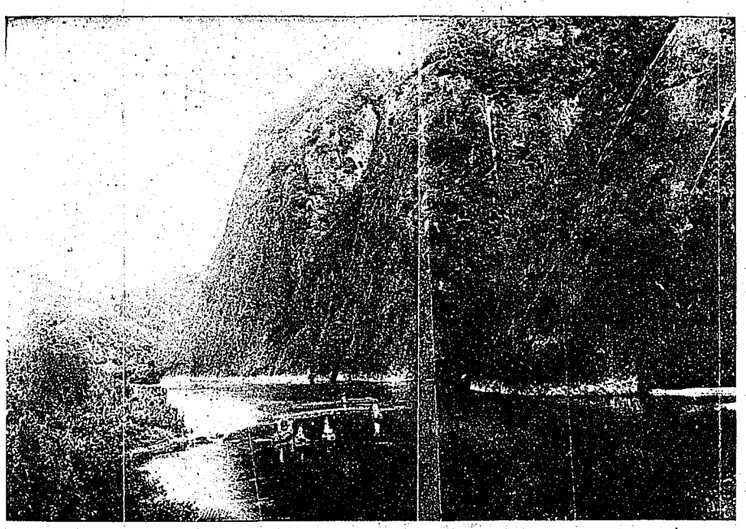
高池ノ奇岩ト溫泉 古座川ニ沿フテ上ルコト十町許高池ニ古刹靈巖寺アリ、背後ニ頁岩アリ、峻峯聳ユル所、巨岩頂ヲ壓セントス、又池ノ山ノ虫蝕岩ハ石山ノ中腹ニ大ナル浸蝕ノ形アリ、頗ル奇觀ナリ、才ノ谷溫泉ハ皮膚病、リヨウマチス、子宮病等ニ効アリテ、其土地ハ山ニ對シ、川ヲ控ヘ、幽邃愛スヘシ。

古座ノ古城山 古座ノ河口ノ近キ所ニ燈臺百餘級ヲ上レハ青原寺アリ、此寺院ヲ左方ニ小高キ城趾アリ、古城山ト云、元龜天正ノ頃蒙族高瓦攝津守ノ城ヲ構ヘ威風遠近ヲ壓セシ舊境ナリ、大島、串本、橋杭、九龍島等社帶ヲ間ニ收メ風光佳絶ナリ、近年櫻樹ヲ植エ公園トナセリ。

眞砂溪ト丸山 古座川ノ上流、一枚岩(齋雲岩)ヨリ舟行一里餘ノ處ニ在リ、溪狹リ巖聳ヘ小瀞ノ稱アリ、是ヨリ河上ハ舟ヲ通セス丸山ハ三尾川ノ中央ニ在リ、眺望甚タ佳ナリ。

湯ノ鼻溫泉ト平井ノ大瀧 眞砂ヨリ上陸シテ陸路一里、七川村ノ平井川ニ到レバ、溪ニ臨ミ湯ノ鼻溫泉アリ、皮膚病、切疵、撲疵等ニ良シ、往昔眞田幸村疵傷ヲ此湯ニ養フ又平井川ノ距ル一里平井ニ到レハ一大瀑布アリ、那瀑ニ劣ラス偶々河上舟ヲ捨テ、此幽溪探勝地ヲ探ルモ亦風流人士ノ忘レヘカラサル所ナリ。

天然記念植物 沿海ノ地ニ濱木綿アリ、又九龍島ニ谷渡アリ、翠綠觀賞ニ堪ヘタリ、近年採取ヲ禁シ保護ヲ加フルコトトナレリ。



一枚岩(齋雲嵩)

玉筍峯

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 04006

汽船

●急行船　大阪、古座、勝浦　間賃金

	一等	二等	三等
▲下リ 大阪	一、〇〇	七、三〇	三、七〇
和歌浦	一〇、四〇	六、九〇	三、四〇
田邊	六、八〇	四、五〇	二、三〇
串本	—	—	—
▲上リ 串本	—	—	—
田邊	七、七〇	五、一〇	三、七〇
和歌浦	一、〇〇	七、三〇	三、八五
大阪	一、四五	七、六〇	

下リ大阪發午後二時卅分、串本着翌日午前三時卅分
上リ勝浦發午前八時卅分、古座着午前九時四十五分

	一等	二等	三等
▲上リ 勝浦	一、一〇	一、四〇	七〇
古座	—	—	—
串本	一、〇五	七〇	三五
田邊	七、七〇	五、一〇	二、八〇
和歌浦	一、〇〇	七、三〇	三、七〇
大阪	一、四五	七、六〇	三、八五

●定期船　大阪　鳥羽　間賃金

	一等	二等	三等
大阪	一〇、一〇	六、八〇	三、四〇
和歌浦	九、七五	六、五〇	三、二五
田邊	六、九〇	四、六〇	二、三〇
串本	一、〇五	七〇	三五
古座	—	—	—
勝浦	二、一〇	一、四〇	七〇
木本	五、四〇	三、六〇	一、八〇
鳥羽	一〇、八〇	七、一〇	三、六〇

下リ大阪發午後四時、古座着翌日午後二時
上リ古座着午前一時

自動車

○古座串本間自動車　串本自動車組合　電話古座一〇七番
古座發　午前七時半　仝九　時　仝十二時半　午後一時半　仝三時半　仝六時半
串本發　午前八　時　仝九時半　正　午　午後二　時　仝四　時　仝六　時
料金一人九十錢、貸切一臺六圓

○高池明神間自動車
古座川街道自動車會社
電話古座一三番

○古座森浦間自動車　古座自動車商會
電話古座五三番
古座發　午前七時　仝十時　午後一時半　仝五時
森浦發　午前九時　仝十一時半　午後二時半　仝五時
料金一圓六十錢、貸切一臺十二圓

高池發　午前八時　仝十一時　午後三時
明神發　午前九時　正　午　午後四時
料金一人五十錢、貸切一臺三圓

○古座川モーター船　古座川モーター船取扱店　電話古座六三番
三尾川發　午前八時半　古座着　午前十時半　料金一人一圓五十錢
古座發　午後一　時　三尾川着　午後二時半　料金　一　人　二　圓
古座川探勝臨時貸切船一隻定員十五名料金三十圓（前日ニ取扱店ニ交渉アリタシ）

舟

○古座川　川舟
古座川探勝川舟　古座ヨリ往復七時間許一隻乘客五人位料金十二圓位
（ナルベク前日ニ旅館又ハ保勝會ヘ交渉セラレタシ）

旅館

古座町○今夜樓電話十六〇神保旅館電話四十六〇大黑屋電話二十六〇柿本旅館
電話六十三　○松前屋電話十四　○玉井屋電話四十一　○切目屋電話七十四
○秋田屋○川口屋○川六○中川屋
高池町○ふき屋○才ノ谷温泉　▲明神村○飯森屋
三尾川村○臼井屋○美津屋○坂本屋　▲七川村○中屋○前田屋○佐藤旅館
小川村○山登屋

料理屋

古座町●今夜樓電話十六番●神保旅館電話四十六番●柿本旅館電話六十三番
●松前屋電話十四番●玉屋電話十五番甲●七寶電話百十番●いろは食
堂●富士屋●浩養軒●二葉●花月

土産物

古座町松魚節、干鳥賊、酒盜、乾魚、（西川、泉九、桝留、剌利、山英、桝與、立庄、平三、
鍵市、淺清、桝樂、淺喜、山庄、兒三、網文、桝源、各商店
蒲鉾（西川商店）、アワビ、イセエビ、フノリ、ヒジキ（津荷ノ川本、山崎、滿所、
佐藤ノ各商店）、青苔（中港ノ商店）、櫻羊羹（もみじ屋）、菓子（梅林堂、茂竹庵、
櫻精堂）
高池町羊齒細工品（熊野羊齒加工品出荷組合）
西向村西向飴
沿川町村干鮎

西向郁文館印行

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　04006

古座川遊覽案内

東牟婁郡古座町

古座川保勝會

日本郵便
西京

土産物

櫻精堂

高池町羊齒細工品（熊野羊齒加工品出荷組合）

西向村西向飴

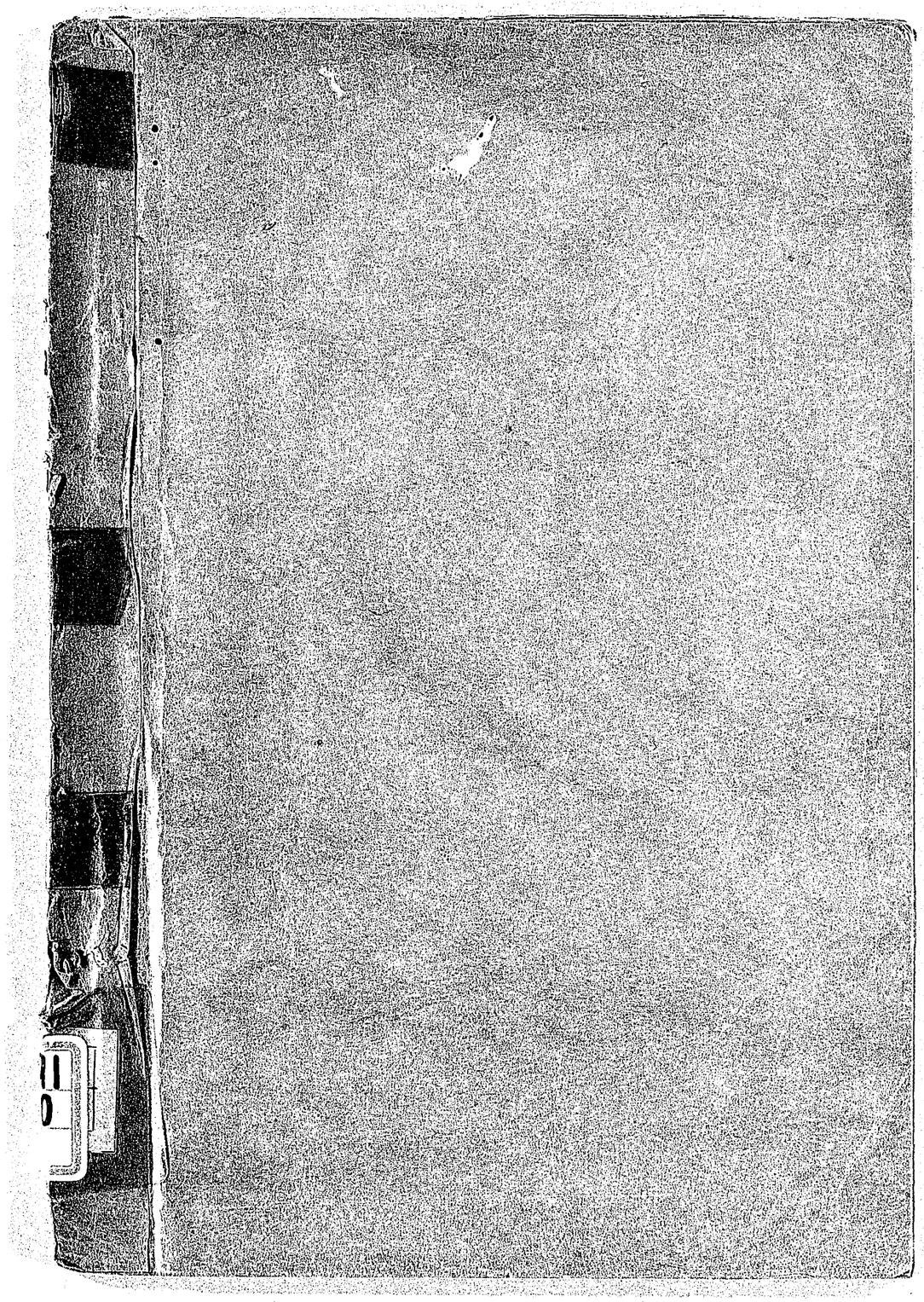
沿川町村干鮎

西向郁文舘印行

滄海浸天、帆影高、情郷遠望似来驚、松風忽起飛濤廣、翻動出雲峰喰岩

熊代 繁男

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 04006



県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 04006